

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立港小学校

1 課題

基礎的，基本的な知識・技能の定着
思考力，表現力の育成

2 課題解決の具体策

「かく」「伝える」活動を取り入れた学習活動の充実
ドリル学習・補習授業の実施

3 取組の概要

について

- ・自分の考えをもち，伝え合い，学び合う授業の基本的な流れを「課題把握」「自力解決」「小交流」「全体交流」「まとめ」という形で統一して授業を重ねてきた。自力解決の場面では，思考力を磨き，論理的に考える力をつけるために，既習事項を生かしながら「式」「文章」「図」「絵」を使った「かく」算数的活動を取り入れた。また，表現力を高め，学び合う喜びを味わうことができるように，かいたものを基に交流する機会をつくった。

について

- ・算数の計算力を高めるために，毎週火曜日の朝学習で，ドリル学習に取り組んでいる。
- ・毎週水曜日の放課後に，補習授業を実施し，基礎学力を高める指導を行っている。

わり算の筆算をします。
いつもは、(1の位)に商を立てているけど、
十の位で商を
のり算(式) 20 3 4 5 (10の位)
21 1 3 5 9 (1の位)
÷21=あまり13
うぬないのぞ
ちをおろす。
135÷21にはできるの?
やります。だいたい6が
の位に立ちます。かけます
21×6=126です。135
126=9です。答え16あまり9
(1人分は16枚と9枚あまる)
けん算 21×16+9=345

4 成果と課題

「かく」「伝える」活動を取り入れたことにより，児童一人ひとりが自分の考えを持ちながら，意欲的に学習に取り組むようになった。また，論理的に考える力が向上してきた。
基礎・基本を定着させるために，個に応じた指導体制や時間を確保したい。

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立 港 小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識、技能の確かな定着
思考力・判断力・表現力の育成と学習場面の効果的な設定

2 課題解決の具体策

「漢字チャレンジテスト」や「算数ドリル」による繰り返し学習の継続実施
知識技能を活用した思考力・表現力を高める授業の充実

3 取組の概要

「漢字チャレンジテスト」

2年生以上で前学年までの既習漢字を中心に「復習 と定着」を目的に実施している。朝の学習の時間や授業の最初の5分間程度を利用し定期的に取り組んでいる。

「算数ドリル」

特に、「基礎的な計算」を中心に各学年でプリントを作成し継続的に実施している。例えば、2年生では朝の会や学習の導入段階で「九九リレー」などを取り入れ、楽しみながら『繰り返し学習』を実践している。

「思考力・表現力を高める授業づくり」

特に「算数科」において授業の中で『算数的活動』に重点を置き、基礎的な知識や技能を活用しながら＜自分なりに思考＞し、それを小グループや集団の中で＜自分なりの表現力＞で【説明する】活動を取り入れている。

4 成果と課題

学習の中で「基礎的・基本的な知識・技能」の定着を図り、それを効果的に活用しながら「自分の考えを持って、自分なりの言葉で他へ伝える力」をつける取り組みを全学年で徹底しており、児童一人一人の【学習に対する意欲】が着実に向上してきている。

学校での学習習慣が家庭での「自主的」に取り組む力へと繋がっていくように、児童一人一人に対して啓発し、更に＜家庭での学習の仕方＞を配布するなど、家庭と連携した取り組みを行っていく。